

届出養殖業の届出書 記載例 (陸上養殖業)

- ①開始届出書 (事業開始の1か月前まで)
- ②変更届出書 (変更後遅滞なく)
- ③廃止届出書 (廃止後遅滞なく)
- ④相続人等の特例届出書 (相続等の30日後まで)
- ⑤実績報告書 (毎年、4月30日まで)

- 届出に関する書類は、**養殖場が所在する都道府県に2部**提出してください。

なお、複数の都道府県に養殖場を有する場合には、各都道府県内に所在する養殖場について記載した書類を作成し、それぞれの都道府県知事に2部ずつ提出してください。

(例) A県に養殖場a1とa2、B県に養殖場b1がある場合
a1、a2についての届出書をA県に2部ずつ、
b1についての届出書をB県に2部 提出する。

- 書類の提出期限が定められている場合は、**都道府県に提出する期限**とします。

①開始届出書

別記様式 1

届出養殖業の開始届出書

○ 年 ○ 月 ○ 日

養殖業の開始（初回の池入れ）の**1か月前まで**に養殖場が所在する都道府県に届け出ること。

農林水産大臣 殿

申請者	住所	〇〇県〇〇市〇〇1-1
	氏名	株式会社 〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇
	電話番号	(〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇
	メールアドレス	〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇

業務上通常使用している名称を記載すること。
※特に名称を付けていない場合は、(例)にならない識別できるような名称を記載する。

届出養殖業を行いたいので、内水面漁業の振興に関する法律第28条第1項の規定により、届け出ます。

複数の地番にわたる場合等は、代表地の住所を記載する。

記

さけ・ます類については、「ニジマス（淡水）」、「ニジマス（海水）」等のように、淡水と海水どちらの飼育水を使用しているか明記する。

循環式、アクアポニックスのいずれかで養殖する場合は、種名の後にかっこ書きで記載する。

時期等によって変動がある場合は、平均値と最大値を記載する。

養殖業の開始（初回の池入れ）の日を記載すること。
※令和5年4月1日時点で既に養殖業を営んでいる者については、「**令和5年4月1日**」と記載する。

※ この届出を受け付けた後、**農林水産大臣から養殖場ごとに番号を通知**するので、適切に保管すること。
※ 次ページ以降の書類の「養殖場の届出番号」欄には、その通知された届出番号を記載すること。

養殖場の名称	(例) 第1養殖場			
養殖場の所在地	〇〇県〇〇市1-2			
養殖池数	2面			
全ての養殖池の総面積及び総体積	314	m ²	1,600	トン
養殖する水産動植物の種類	ニジマス（海水） バナメイエビ（アクアポニックス）			
（令和5年4月以前から届出養殖業を営んでいる場合） 前年（4月から3月まで）の生産量	200			トン
1日当たり排水量	0.5			トン
取水先	河川（〇〇川）・海洋（〇〇湾）・ 水道水（そのまま使用・人工海水として使用） ・地下海水・その他（ ）			
排水先	下水・河川（〇〇川）・海洋（〇〇湾）・用水路 ・その他（ ）			
排水時の処理状況	ろ過フィルターによる物理的ろ過			
停電時における補助電源の確保の有無	無 ・ 有（〇〇日分）			
開始予定時期	令和〇年〇月〇日			

備考1 「開始予定時期」は、初めて受精卵又は稚魚を入れる時期を記入すること。

2 「排水時の処理状況」には、「〇〇による物理的ろ過」、「〇〇による生物ろ過」等、排水の処理方法を具体名も入れて記入すること。

②変更届出書

別記様式 2

変更の日から概ね 2 週間以内に届け出ること。

届出養殖業の届出事項の変更届出書

○ 年 ○ 月 ○ 日

農林水産大臣 殿

申請者	住所	〇〇県〇〇市〇〇 1 - 1
	氏名	株式会社 〇〇代表取締役 〇〇 〇〇
	電話番号	(〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇
	メールアドレス	〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇

届出養殖業の届出事項に変更がありましたので、内水面漁業の振興に関する法律第28条第2項の規定により、届け出ます。

記

変更があった年月日	令和〇年 ○ 月 ○ 日
養殖場の届出番号	〇〇〇
変更事項	(例：養殖場の移転の場合) 養殖場の名称、所在地、面数、総面積
変更前	(例：養殖場の移転の場合) 第1 養殖場 〇〇県〇〇市 1 - 2 3 面 200㎡
変更後	(例：養殖場の移転の場合) 第4 養殖場 △△県△△市 1 - 1 2 面 180㎡
変更の理由	(例：養殖場の移転の場合) 養殖場の移転のため。

変更前と変更後で養殖場の所在する都道府県が異なる場合、**変更届出書は変更前の都道府県に提出すること。**
※その後の実績報告等は、変更後の都道府県に提出する。

備考 変更事項の欄には、別記様式 1 に掲げる事項のうち、変更した事項を記載すること。

③廃止届出書

別記様式3

届出養殖業の廃止届出書

廃止の日から概ね2週間以内に届け出ること。

○ 年 ○ 月 ○ 日

農林水産大臣 殿

申請者	住所	〇〇県〇〇市〇〇1-1
	氏名	株式会社〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇
	電話番号	(〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇
	メールアドレス	〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇

※休業の場合には廃止届出書は提出しないこと（実績報告書の実績を「0」と記載して提出する。）。

届出養殖業を廃止したので、内水面漁業の振興に関する法律第28条第3項の規定により、届け出ます。

記

廃止年月日	令和〇 年 ○ 月 ○ 日
養殖場の届出番号	〇〇〇
廃止の理由	(例) 事業を譲渡したため 譲渡先：株式会社 △△水産 △△県△△市2-2 代表取締役 △△ △△ 譲渡年月日：令和〇年〇月〇日

事業譲渡・合併・分割等、事業は継続するが届出者の法人格に変更がある場合は、変更届出ではなく**廃止届出+相続等の特例届出**で事業を承継すること。

備考 廃止の理由は、合併、経営譲渡、廃止後の当該事業についての承継先等について、具体的に記述すること。

④ 相続等の特例届出書

別記様式 4

承継した日から
30日以内に提出
すること。

届出養殖業者の相続人等の特例に関する届出書

○ 年 ○ 月 ○ 日

農林水産大臣 殿

申請者	住所	△△県△△市△△ 2-2
	氏名	株式会社 △△水産 代表取締役 △△ △△
	電話番号	(○○○) ○○○ - ○○○○
	メールアドレス	○○○○○○○○○@○○○○

届出養殖業者から内水面漁業の振興に関する法律第28条第1項の届出に係る養殖業の全部を譲り受け、又は届出養殖業者の死亡若しくは合併若しくは分割により届出養殖業に係る養殖業を継承したので、内水面漁業の振興に関する法律施行規則第19条の規定により、届け出ます。

記

相続の場合は、相続開始の日を記載する。

承継の年月日	令和○ 年 ○ 月 ○ 日
被承継者の氏名及び住所 (法人にあつては、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)	○○県○○市○○ 1-1 株式会社 ○○ 代表取締役 ○○ ○○
承継の原因	<input checked="" type="radio"/> ア 全部譲受け <input checked="" type="radio"/> イ 相続、合併又は分割
養殖場の届出番号	○○○ 承継前の届出番号を記載すること。
承継に係る養殖場の名称、その所在地及びその面積	株式会社 ○○ ○○県○○市○○ 1-1 200㎡

どちらかに○を付すこと。

備考 1 届出の原因は、内水面漁業の振興に関する法律第28条第1項の届出に係る養殖業の全部を譲り受けた場合にはアに、届出養殖業者の相続、合併又は分割の場合にはイに○を付すこと。
2 届出の原因となる事実を証する書面を添付すること。

・事業譲渡、合併、分割の場合には、**契約書の写し**等合併等を証する書類
・相続の場合には、**遺産分割の協議書**等相続を証する書類

⑤実績報告書（1）

別記様式 5

届出養殖業の実績報告書(養殖場ごとに報告)

農林水産大臣 殿

法人にあっては、主たる事務所の所在地

法人にあっては、名称及び代表者の氏名

住所	〇〇県〇〇市〇〇1-1
氏名	株式会社〇〇 代表取締役〇〇
主たる養殖場の所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-1
養殖場の届出番号	〇〇〇
報告年月日	令和〇年〇月〇日
報告対象期間	令和〇年4月1日から令和〇年3月31日
報告書取扱責任者	(役職) (氏名) 〇〇 〇〇
養殖形態※	かけ流し式
電話番号	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
メールアドレス	〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇

該当する養殖形態をプルダウンで選択。

かけ流し式…飼育に供した水を再利用せずそのまま排水する場合。

循環式…飼育排水を生物ろ過等で処理し、再度飼育水として利用する場合。

アクアポニックス…「循環式」のうち飼育排水を水耕栽培に利用する場合。

- 異なる養殖形態の養殖池が同じ養殖場内にある場合は、『併用（魚種ごとに形態を記載）』を選択。各項目の右側にある備考欄に、魚種別に該当する養殖形態を記載する。

報告書取扱責任者	(役職) (氏名) 〇〇 〇〇
養殖形態※	併用（魚種ごとに形態を記載）
電話番号	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
メールアドレス	〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇

1. 養殖の用に供した種苗の種類別の量(前年度に導入した種苗(受精卵を含む)の量及び尾数)

魚種名(標準和名)	魚齢	重量(Kg)	尾	備考欄
ニジマス(海水)	0歳		10,000	かけ流し式
トラフグ	0歳	21	2,000	循環式

※ 2. 前年度末(3月31日)時点在庫数量～4. 前年度へい死数量についても同様。

魚齢については数字のみを入力。
(歳については入力後自動で表示されます。)

受精卵を導入した場合は、尾数記入欄に個数を記載し、備考欄にその旨を記載。

1. 養殖の用に供した種苗の種類別の量(前年度に導入した種苗(受精卵を含む)の量及び尾数)

魚種名(標準和名)	魚齢	重量(Kg)	尾	備考欄
ニジマス(海水)	0歳		10,000	受精卵の個数を記載。
トラフグ	0歳	21	2,000	
その他魚類	0歳	15	1,500	魚種名: 〇〇〇〇
マフグ	2歳	202	10,000	
ミナミアオノリ				
ムラサキウニ				
メガイアワビ				
メジナ				
メバル				
ヤイトハタ				
ヤマメ				
その他魚類				
その他貝類				
その他藻類				
その他				

魚種名はプルダウン選択。
(選択肢にない場合は『その他魚類』、『その他貝類』、『その他藻類』、『その他』のいずれかを選択し、備考欄に魚種名を記載。)

※ 付属する入力不可の集計表シートは書き込んだり、削除したりしないでください。

⑤実績報告書 (2)

2. 前年度末 (3月31日) 時点在庫数量(kg)

魚種名 (標準和名)	魚齢	重量(Kg)	備考欄
ニジマス (海水)	0歳	9,012	
ニジマス (海水)	1歳	90,024	
ニジマス (海水)	2歳	270,036	
トラフグ	0歳	101	
トラフグ	1歳	303	
トラフグ	2歳	802	
その他魚類	1歳	403	魚種名: ○○○○
その他魚類	2歳	705	魚種名: ○○○○
キタムラサキウニ	2歳	1,012	
キタムラサキウニ	3歳	2,024	

魚齢・出荷月については
数字のみを入力。
(歳・月については入力後自動で表示されます。)

出荷月	
4	
↓	
入力後	
出荷月	
4月	

重量は**原形重量**
(貝類は殻付き重量、
海藻類は生(湿)重量)を
一の位まで記載。

3. 前年度出荷重量及び出荷金額

魚種名 (標準和名)	重量(Kg)	金額 (千円)	単価 (円/kg)	出荷月	備考欄
ニジマス (海水)	30,021	60,000	1,999	4月	
ニジマス (海水)	30,017	60,000	1,999	5月	
ニジマス (海水)	30,022	60,000	1,999	6月	
ニジマス (海水)	30,014	60,000	1,999	7月	
ニジマス (海水)	30,024	60,000	1,998	8月	
ニジマス (海水)	30,018	60,000	1,999	9月	
ニジマス (海水)	30,028	60,000	1,998	10月	
ニジマス (海水)	30,080	60,000	1,995	11月	
ニジマス (海水)	30,912	60,000	1,941	12月	
ニジマス (海水)	30,518	60,000	1,966	1月	
ニジマス (海水)	30,467	60,000	1,969	2月	
ニジマス (海水)	30,026	60,000	1,998	3月	
トラフグ	105	400	3,810	8月	
トラフグ	108	400	3,704	9月	
トラフグ	102	400	3,922	10月	

魚種名は**プルダウン選択。**

(選択肢にない場合は『その他魚類』、『その他貝類』、『その他藻類』、『その他』のいずれかを選択し、備考欄に魚種名を記載。)

金額は円単位ではなく
千円単位での記載をお願いします。

※重量 (kg) と金額 (千円) を入力すると、
自動で単価 (円/kg) が算出されます。
単位間違いがないか等、数値の確認にお役立てください。

4. 前年度へい死数量(kg)

魚種名 (標準和名)	魚齢	重量(Kg)	備考欄
ニジマス (海水)	1歳	○○○	
ニジマス (海水)	2歳	○○○	
ニジマス (海水)	3歳	○○○	
トラフグ	0歳	○○○	
トラフグ	1歳	○○○	
トラフグ	2歳	○○○	
その他魚類	1歳	○○○	
その他魚類	2歳	○○○	
キタムラサキウニ	1歳	○○○	
キタムラサキウニ	2歳	○○○	

※付属する入力不可の集計表シートは
書き込んだり、削除したりしないでください。